

ボタン

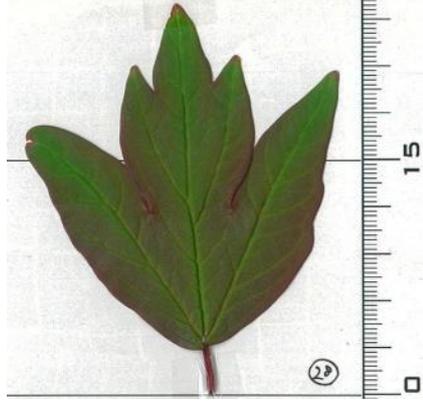
【区画⑦(28, 31)】

学名	<i>Paeonia suffruticosa</i> Andrews	分類	ボタン科ボタン属
分布	日本各地の庭園に栽植	樹高	0.5~1.5m程度の落葉低木

〈特徴等〉

名前の由来	漢名で、牡丹の音読みである。		
葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
開花等	5月頃、枝の端に大型の花をつける。花の色は紫、赤、白などいろいろある。		
結実等	袋果(袋状の果実)が2~5個あり、それが開裂して中から大きい種子があらわれる。		
その他	根の皮を薬用とする。 「忘れ草」「花王」などの別名がある。		

〈写真〉

		
樹木 (5/12)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (4/2)
		
葉 (6/12)	花 (5/12) 更新予定	果実(実) (5/12)

〈参考文献〉

まきのとみたろう 『新分類 牧野日本植物図鑑』 北隆館, p. 511.